

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

（5月中に記入）

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野	しごと分野	担当課		経済観光課			
	政策分野	地域産業	課長名		松元 明和			
	施策	12 観光・交流の振興	重点施策の該当		R4	-	R5	-
施策の目的	対象	観光事業者、観光客		意図	地域の魅力を知ってもらう 所得を増やす			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
種子島への船による入込数(離島カード利用者以外)(人)	67,101	75,340	98,360 (125,000)	(130,000)	(135,000)	(140,000)
宿泊者数(人)	50,697	62,630	77,271 (60,000)	(72,000)	(74,000)	(76,000)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
79.6	17.2	81.6	18.0						
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
77.3	-16.1	79.0	-17.2						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	6年度目標	7年度目標
観光施設の整備	8-15 8-16	観光施設・環境の整備・修繕件数(箇所数)	2	1	1 (1)	(1)	(1)	(1)
観光誘客活動の推進	8-15 8-18	種子島への船による入込数(離島カード利用者以外)(人)	67,101	75,340	98,360 (125,000)	(130,000)	(135,000)	(140,000)
観光誘客活動の推進		宿泊者数(人)	50,697	62,630	77,271 (60,000)	(72,000)	(74,000)	(76,000)
交流事業の推進	8-15	交流者(イベントなどによる来島者)(人)	110	160	88 (900)	(950)	(1,000)	(1,050)
交流事業の推進		民泊人数(人)	0	0	0 (420)	(430)	(440)	(450)
文化歴史資源を活用した観光の推進	8-15 8-17	鉄砲館の入場者数(人)	13,376	13,544	20,577 (18,000)	(23,000)	(28,000)	(30,000)
文化歴史資源を活用した観光の推進		古民家(月窓亭など)の入場者数(人)	3,519	3,411	5,609 (6,000)	(8,000)	(10,000)	(12,000)
文化歴史資源を活用した観光の推進		歴史的観光ルートの設定(累計)	-	-	0 (3)	(3)	(3)	(4)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客等の来島が減少していたが、徐々に人流が回復していた。年度後半からは、工事関係者の宿泊所利用と重なり、観光客が宿泊場所を確保できないとの問合せも出てきた。宿泊所と一部生活サービス業においては、利用者が増えたことで、収益機会も増したが、お土産・観光サービス業において利用者が減少するなどの声を頂いている。観光客に対する宿泊場所の確保を図るため、関係機関・団体との連携を強化する必要がある。	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	観光施設の整備については、浦田海水浴場シーサイドハウスの連絡橋改修工事を実施した。また、海水浴場の利用者は前年に比べ大きく増加した。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大で観光客が減少している中、情報発信の強化に努め、観光プロモーション事業においては、集客力のある有名女優を採用することで動画視聴回数(2万回以上)、雑誌掲載(月間利用者504万人)など効果的な発信をすることができた。また、東京スカイツリー等、集客効果が高い国内拠点でのPRやJALの国内線機内雑誌での広告掲載など行っている。さらに、島内への修学旅行への歓送迎を港で実施するなど、細やかな対応を重ねた。
現状・課題	新型コロナウイルス感染症の影響が減少し、人の動きが活発になることを見据えた誘客のPRや受入体制の充実に効果的に取り組む必要がある。環境変化でも記載した通り、観光客に対する宿泊場所の確保を整理しなければならず、様々な主体との協力・連携が必須である。

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の実行へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	コロナ禍から物価高騰など、様々な課題がある中、多くの産業に影響があり、対策も困難を極める中、人の動きで賑わいを創出できる観光業は非常に重要であり、地域経済の活性化を推進する立場としての観光振興を目指すべく、取り組んでいく必要がある。

②-2 政策部会による振り返り(Check) (6月中旬に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	【産業振興部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。